

seca 635

EMR ready デジタルワイド
プラットフォームスケール
(検定付) ㊦

EMR-integrated



- 最大計量 300 kg
- リモートケーブル式
ディスプレイ
- BMI機能付き

seca 635:

特別な目的のための快適な解決策

肥満とそれに関連する病気は世界で最も急速に広がっている問題です。診断と治療のためには定期的な体重管理が必要です。ほんの少しの減量でも病気になるリスクを軽減します。肥満の方の体重測定時のニーズに合わせてsecaはこのデジタルワイドプラットフォームスケールを開発しました。このスケールは医者、看護師、そして患者の要求に答えます。標準体重の患者の計量にも多忙な医療現場でじっとしてられない患者を計量するにもダンピング機能が付いているので向いています。



最大計量 300 kg

乾電池使用のデジタルワイドプラットフォームスケールseca 635は特に肥満の方に開発されました。最大計量300 kgあり、体格の大きな方や妊娠されている方など向けの頑丈なスケールです。

余裕のプラットフォームサイズ

低いプラットフォームは患者が体重計に乗る際のリスクや負担を軽減します。56 x 56 cmの通常の2倍程の大きさの体重計には椅子を載せて患者の体重を量ることもできます。プリセット風袋機能で椅子や支えの重さを差し引くことができます。3つの風袋重量（例えば椅子の重量）を記憶させておくことができます。

便利なりモート式ディスプレイ

測定結果はケーブル式の大型LCDディスプレイに表示されます。ディスプレイは目の高さで壁へ取り付けたり、机の上に置いたり、オプションのディスプレイスタンドseca 472に取り付けたりできます。表示単位100 gでほんの少しの体重変化も表します。オートホールド機能で患者が体重計を降りた後まで表示し続けます。エコモードがあり、乾電池使用時は自動で電源が切れます。

BMI機能付き

専門家達は2040年には世界の人口の半数はBMI値30 kg / m²以上（肥満体型）になると予測しています。seca 635はBMI機能付きで栄養状態を把握し、早期に対応策を取ることを助けます。

seca電子カルテ連動ソリューション：仕事の流れを改善する方法

seca 635は病院の電子カルテシステムにネットワークを介して測定値を統合できます。seca 452を介して測定値は電子カルテへ直接送信され、即座に全てのユーザー端末で確認可能となります。外付けのバーコードスキャナーを取り付けることにより、患者と利用者双方を確認することができ、測定結果は常に正確に登録されます。これにより時間を節約し、プロセスの信頼性を向上し、通信エラーを排除します。（別途費用）seca電子カルテ連動ソリューションに関するお問い合わせはこちらへ： info@seca.co.jp

seca 635

Technical Data

- 最大計量: 300 kg
- 表示単位: 200 kgまで100 g、200 kg以上200 g
- サイズ (WxHxD): 640 x 55 x 600 mm
- 計量台サイズ (WxHxD): 560 x 55 x 560 mm
- 重量: 14.4 kg
- 電源: 単三乾電池x6本、ACアダプター (別売オプション)
- ケーブルの長さ: 2.5 m
- 機能: 風袋引き機能、プリセット風袋機能、ホールド機能、オートホールド機能、BMI機能、オートクリア機能、オートレンジ機能、ダンピング機能、自動電源オフ機能、送信機能
- 別売オプション: ACアダプター 440n、ディスプレイスタンド seca 472
- 精度等級: 3 級

システム連携：すべての電子カルテシステム(EMR)そしてsecaのEMR ready製品と連動可能です。ただし、EMRとの連動については別途費用が必要となります。詳細についてはお気軽にお問い合わせください。



身長を手動で入力するとBMIの表示が可能



リモートケーブル式ディスプレイ用スタンド